

06 知識・技能を身に付ける

取組事例
14

森林や林業の話 県産材を使おう

～ カード立て作り体験 ～

桑名市立青葉小学校 5～6年生



森林のはたらきについて学んでいる様子

実施時期	令和5年11月
実施場所	教室及び図工室
時間	2時限（45分×2）
対象・人数	小学5年生12人、6年生16人
講師	森のせんせい2人 （鈴鹿森林組合）
備考	みえ森づくりサポートセンターによる森林教育出前授業

めざす姿	06知識・技能を身に付ける （ 01 遊び・楽しむ、 02 親しむ、 03 興味・関心を持つ、 08 地域の課題に目を向ける）
ねらい	森林のはたらきを知り、間伐材を使うことの意義について考える
内容	・ 森の手入れをすることで、森のはたらきが維持でき、下流部や海的环境も保たれていることを知る ・ 年輪の数から、木により年輪幅など違いがあることを知り、その理由と森林整備との関連について考える ・ カード立て作りを通して、手鋸の使い方や大変さを知り、木の香りや肌触りを感じ、ものづくりを楽しむ
学習指導要領との関連	森林資源のはたらき（小学5年生社会科） 面白さ・不思議さ（小学1～2年生生活）、楽しむ（小学1～4年生道徳）、飲料水と森林保全（小学4年生社会科）、水の循環（小学4年生理科）、森林を保全する仕事（林業）・森林と人々の暮らし・森林資源と木材生産（小学5年生社会科）、水の作用（土砂運搬）（小学5年生理科）、創作活動（小学4～6年生図画工作）、地域の自然環境と人々の暮らし（小学生総合的な学習の時間）



年輪を数えている様子



丸太の切り方を教わっている様子



丸太切り体験の様子

子どもの反応	・ 広大な森林を管理することは大変だけれど、管理してくれる人がいるから、山崩れが起きないのだなとわかりました。 ・ 間伐材を使うことは、環境に良いということがわかりました。
学校のコメント	・ 生活の身近な場所にある山の役割を知ることができて、より自分たちの地域に好感を持つことができました。また、間伐材の有効利用をすることは、森林にも人にも良いことだと身をもって感じる事ができ、実体験できるこのような機会をさらに続けたいと思いました。